日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	スタッフワークショップ1
科目基礎情報				
開設学科	演劇スタッフ科	コース名		開設期 前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時限数 240時限
単位数	8単位			授業形態 実習
教科書/教材	必要時、資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。教材、機材は教室内のものを使用する。			
担当教員情報				
担当教員	森岡重樹・寺嶋陽子・山本浩二・鶴巻一弘・山田岳史	実務経験の有無・職種	有・舞台スタッフ	
学習目的				
前期は、照明・音響・舞台監督・大道具・装置デザイン・小道具の舞台美術を構成する各分野の基礎的なことを学ぶ。すべての分野をローテーション実習することにより、本番に向けての各分野の流れを把握する。仕込み～撤収の実習では各セッション一同に会してのグループワークとなるので、すべてのセッションを体験することが重要になる。後期には一つの分野を選択し、より専門的な実習を行うため、自分が学びたい、または適していると思われる分野を見つける、確認をする。				
到達目標				
業種・企業・職種を自分の適性や興味・関心と結びつけて理解すること、社会にでてから活動するために必要な能力を具体的にイメージすること、そこを前提に一年次の修了公演を各セッションが協力し円滑に進め、実習の成果と公演の成功を目標とする、各セッションの仕事内容を体験するとともに本番上演することによって理解を深める。舞台スタッフとしての基礎を学び、知識や情報を得た状態で後期に行われるセッション選択ができること。				
教育方法等				
授業概要	舞台美術についての導入からはじまり、基礎用語の解説や主に使用する道具、機材の説明をする。これらは講義形式となり各実習室で行われる。安全衛生を含めた説明ののちは実際に手を動かし、基礎的な実習に移行して行く。			
注意点	この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。業界に出て、現場で仕事に従事するという観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。一回の実習で内容が理由のない遅刻や欠席は認めない。実習ということで工具などを使用するので、正しい使い方を知り、安全衛生に気をつける。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。			
評価方法	種別	割合	備考	
	実習課題	50%	各セッションの実習を、落とし込んでいるか。課題を総合的に評価する	
	レポート	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する	
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する	
授業計画（1回～36回）				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	自己紹介、舞台スタッフとは	共に基礎実習をしていく仲間とのコミュニケーションをはかる。各セッションで学ぶことの理解		
2回	道具や機材の説明	正しく、安全な使用方法・操作法を学ぶ。同時に基礎用語も覚える		
3回	2回目をふまえての実習	実際に道具、機材を使用し理解する		
4回	各セッションでの実習/本番準備	実際に道具、機材を使用し理解する/本番にむけての準備をする。その重要性を学ぶ		
5回	仕込み/リハーサル	舞台が成立してゆく流れを学び体験する		
6回	本番/撤収/振り返り	本番を経て、撤収までを学び、体験する。円滑に仕事が出来たか、安全衛生には気をつけたか等振り返り、次のステップにする		
各セッション（舞台監督・大道具・照明・音響・デザイン・小道具）全てを、上記の流れで実習を行う。				
6セッションを全6回、36回の基礎実習となります。（ローテーション実習）				